議決権行使レポート

証券コード　　8242

会社名　　エイチ・ツー・オー　リテイリング株式会社

	賛成	反対	棄権
第 1 号議案　取締役選任			
荒木　直也 氏	○		
林 克弘 氏	○		
山口俊比古 氏	○		
角　和夫　氏	○		
第 2 号議案　監査等委員選任			
後藤　健志　氏	○		
第 3 号議案　役員賞与支給	○		

上記の推奨をした理由

第 1 号議案

第一に、エイチ・ツー・オー　リテイリングは 2022 年度の最終利益が 163 億円であり過去最高を記録しており、前期と比べると、165.9%の増加である。また、新型コロナウイルスの影響もあり、過去 5 期平均の自己資本利益率は 5%を切っていた。しかし、2022 年度の自己資本利益率は 6.7%であり、新型コロナウイルスの影響をうけてもなお、大幅な改善傾向がみられる。また、2022 年度にエイチ・ツー・オー　リテイリングは政策保有株式を 262 億円売却し、資産運用の効率化を図っている。また、エイチ・ツー・オー　リテイリングには取締役が合計で 9 名いるが、そのうち 4 名が独立性のある社外取締役である。また、取締役 9 名のうち 2 名が女性である。2 名の女性の取締役は社外取締役であるので、社内取締役に女性がいないのが懸念ではあるが、それほど重要ではないと考えられる。以上の理由から取締役選任において、各候補者に対して反対する理由がないため、賛成とした。

第 2 号議案

後藤氏はエイチ・ツー・オー　リテイリングの主要な取引先や、大株主での勤続経験もなく、また同グループの阪急阪神百貨店での監査役を勤めているなど独立性と経験を姉備えている。そこで後藤氏に反対する理由がないので賛成とした。

第 3 号議案

取締役の荒木氏、林氏、山口氏に対し総額 2660 万円の役員賞与を支給するものであ

る。そもそも、取締役への賞与供給は取締役会で決定できるが、あえて株主の承認を求めている点が高く評価できる。そして、エイチ・ツー・オー　リテイリングは 2022 年度の最終利益が過去最高を記録しており、賞与の額も 2660 万円と過大ではないと考えられるため、反対する理由がない。そこで賛成とした。

参考文献

1. 日本取引所グループ　エイチ・ツー・オー　リテイリング　第 104 期定時株主総会招集ご通知及び株主総会資料　2023 年 6 月 26 日
https://www2.jpx.co.jp/disc/82420/140120230531590184.pdf

2. JAPAN ISS　2023 年版　日本向け議決権行使助言基準　2023 年 6 月 26 日
https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf

3. エイチ・ツー・オー　リテイリング　企業情報　企業統治　2023 年 6 月 26 日
https://www.h2o-retailing.co.jp/ja/company/governance/c-governance.html

4. エイチ・ツー・オー　リテイリング　IR 情報　2023 年 3 月期決算説明
https://data.swcms.net/file/h2o-retailing/ja/news/auto_20230505558894/pdfFile.pdf